

臨床検査学教育

JAPANESE JOURNAL OF MEDICAL TECHNOLOGY EDUCATION

第14回 日本臨床検査学教育学会学術大会 抄録集

- 会 期 令和元年8月21日(水)～23日(金)
- 会 場 熊本保健科学大学 50周年記念館・1号館・3号館
- テ ー マ 支え合う・寄り添う
- 大 会 長 古閑 公治 (熊本保健科学大学)
- 副大会長 秋山 秀彦 (藤田医科大学)
- 実行委員長 池田 勝義 (熊本保健科学大学)
- 担 当 校 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科



臨床検査学教育

Vol. 11 Supp. 2019

第14回日本臨床検査学教育学会学術大会開催にあたり	1
年次別開催一覧	2
第14回日本臨床検査学教育学会学術大会	3
参加者へのご案内	4
会場アクセス図	7
会場周辺図	8
会場案内図	9
タイムテーブル	10
一般演題 座長一覧	13
プログラム	14
抄 録	
特別講演	30
特別招聘講演	32
基調講演	34
教育講演1	38
教育講演2	40
教育講演3	42
シンポジウム	44
ランチョンセミナー	48
教員・学生合同研修会	50
クロージング・トーク	52
一般演題(教員セッション)	56
一般演題(大学院セッション)	74
一般演題(学部セッション)	90
索 引	112
広告掲載企業・団体	
協賛企業・団体	118



第14回日本臨床検査学教育学会学術大会 開催にあたり

第14回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長 古閑 公治 (熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科)

この度、第14回日本臨床検査学教育学会学術大会を令和元年8月21日(水)から23日(金)の3日間、熊本市北区の熊本保健科学大学におきまして、開催させていただく運びとなりました。このような伝統ある学術大会を開催できますことを誠に光栄に存じます。さらに、会員校の皆様方に感謝申し上げますとともに、有意義な学術大会となるよう準備を進めて参ります。

学会のテーマは「支え合う・寄り添う」です。我々は、平成26年4月14日21時26分と16日1時25分に2回の地震を経験しました。後に「熊本地震」と命名されました。世界でも経験が少ないと考えられる震度7の前震と本震、それに一連の余震の多さに日常生活もままならない日々が続きました。本学構内は、全国から駆け付けてくださいました被災地復興支援DVT検診ボランティアや学生ボランティアの拠点および宿泊所として機能しました。未曾有の震災を乗り越えて、熊本の地で学業および復興に励んでいる学生や臨床検査技師の皆様のひた向きの姿を覗いてみていただければと考えます。そこで、学会のテーマについて、我々の貴重な経験をもとに学生と教職員、先輩と後輩、同級生同士など人々が学内外を問わずに支え合う中で寄り添って共存共栄することによって、新たな社会への活路を踏み出すことが、求められているのではないかと考えました。

大会1日目は、開会式後に日本臨床検査学教育協議会理事長の奥村伸生先生による「臨地実習前の総合実習(臨床検査版 OSCE)に対する協議会の方向性」の基調講演から始まり、実践報告として「OSLE: 臨床検査学教育における形成的 OSCE の開発・実践・課題」、次にシンポジウムは、「臨床検査技師教育における修学支援について: 多様な学生への支援」を取り上げさせていただきました。さらに、特別招聘講演では熊本市立植木病院長の掃本誠治先生に「災害医療支援における多職種連携 ～熊本地震から学んだこと～」をテーマにご講演いただきます。2日目は、午前で一般演題発表の100題、午後から特別講演として学校法人銀杏学園理事長(熊本保健科学大学前学長)の崎元達郎先生による「地震と建物」についてご講演いただきます。次に「法改正(臨床検査の精度の確保)により教育に求められること」をテーマに教員・学生合同研修会、「今どきの若者像」の教育講演1、学生発表における優秀発表賞表彰式、科目別分科会を行います。3日目の最終日は、「これからPBL テュートリアルを始める方へのメッセージ～準備すること・心がけること～」と題して教育講演2、「医療紛争の現状と臨床検査技師の法的責任」と題して教育講演3をご講演いただきます。そして、大会長のクロージング・トーク、最後に閉会式とさせていただきます。

ここで、熊本の気象情報です。8月の平均気温が熊本市内で27.4℃、阿蘇地方で20.4℃です。最高気温が熊本市内で37.1℃、阿蘇地方で29.1℃です。避暑地の阿蘇地方やイルカウォッチングなどの天草地方など海や山へのレジャーも楽しめます。但し、熊本市内では高温多湿ですので、くれぐれもクールビズにて、ご参加をお願いいたします。

最後に、少しでも皆様におもてなしが出来ますよう本学の教職員と学生が一丸となって学会準備に取り組んで参りました。皆様方に熊本の地で教育・研究について語り合い、郷土料理・史跡・景勝などでリフレッシュしていただけることを願っておりますと共に、多数のご参加を心よりお待ちしております。

日本臨床検査学教育学会学術大会

年次別開催一覧

回数	会 期	大会長(所属)	会 場
1	平成 18 年 8 月 23 日～ 25 日	三村 邦裕 (千葉科学大学)	東京医科歯科大学
2	平成 19 年 8 月 27 日～ 29 日	加藤 亮二 (香川県立保健医療大学)	香川県県民ホール
3	平成 20 年 8 月 20 日～ 22 日	大澤 進 (九州大学)	九州大学医学部 百年講堂
4	平成 21 年 8 月 19 日～ 21 日	佐藤 健次 (東京医科歯科大学)	東京医科歯科大学
5	平成 22 年 8 月 18 日～ 20 日	木田 和幸 (弘前大学)	弘前大学大学院保健研究科
6	平成 23 年 8 月 17 日～ 19 日	渡邊 正友 (新潟医療技術専門学院)	新潟大学医学部保健学科
7	平成 24 年 8 月 22 日～ 24 日	寺平 良治 (藤田保健衛生大学)	名古屋国際会議場
8	平成 25 年 8 月 26 日～ 28 日	岩谷 良則 (大阪大学)	大阪大学 コンベンションセンター
9	平成 26 年 8 月 20 日～ 22 日	山藤 賢 (昭和医療技術専門学校)	東京都大田区産業プラザ
10	平成 27 年 8 月 19 日～ 21 日	奥村 伸生 (信州大学)	信州大学医学部 地域保健推進センター
11	平成 28 年 8 月 31 日～ 9 月 2 日	坂本 秀生 (神戸常盤大学)	神戸常盤大学 神戸国際展示場
12	平成 29 年 8 月 23 日～ 25 日	松下 誠 (埼玉県立大学)	埼玉県立大学
13	平成 30 年 8 月 17 日～ 19 日	山口 博之 (北海道大学)	北海道大学 学術交流会館
14	令和元年 8 月 21 日～ 23 日	古閑 公治 (熊本保健科学大学)	熊本保健科学大学

第14回日本臨床検査学教育学会学術大会

日 程 2019年(令和元年)8月21日(水)～23日(金)
会 場 熊本保健科学大学 50周年記念館・1号館・3号館
担 当 校 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

大 会 長 古閑 公治(熊本保健科学大学)

副 大 会 長 秋山 秀彦(藤田医科大学)

実行委員長 池田 勝義(熊本保健科学大学)

学会テーマ 支え合う・寄り添う

主 催 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

共 催 学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学

後 援 厚生労働省
文部科学省
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
一般社団法人 熊本県臨床検査技師会

事 務 局 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科内
〒861-5598 熊本市北区和泉町325番地

参加者のみなさまへ

- 参加者の受付は、熊本保健科学大学3号館1階ホールの総合受付でお済ませください。
(受付時間 8月21日 10:00～17:00、8月22日 8:00～18:00、8月23日 8:30～12:00)
- 参加費は以下の通りです。
 - 学 術 会 員：10,000円(抄録集代含む)
 - 非学会員：12,000円(抄録集代含む)
 - 協議会加盟校以外の日本臨床衛生検査技師会会員：3,000円(要会員証提示)、
(抄録集1,000円別売)
 - 学 生：2,000円(要学生証提示)(抄録集代含む)
 - 抄録集が別途必要な場合：1冊1,000円
- 会場内では、参加証を必ず見えるところにお付けください。
- 最寄り駅である JR 西里駅の前が大学構内です。3号館までの順路については、看板などで表示します。詳細については会場アクセス図でご確認ください。
- 企業展示・休憩コーナーは、3号館3102講義室Sです。ご利用ください。
- クロークは、3号館3103講義室Sです。貴重品は各自お持ちください。日をまたいでお預かりすることはできません。各日のクローク終了時間までに、速やかに荷物をお引き取りください。
- 救護等が必要な場合には、大会本部またはお近くの係員にお申し出ください。
- 本学構内(校舎内だけでなく、駐車場および大学構内に隣接の道路も含みます)は全面禁煙です。会場付近にも喫煙所はありません。ご協力をお願いいたします。

情報交換会について

- 8月21日(水)17:40より、1号館レストランにて開催いたします。
- 情報交換会の参加費はおひとり5,000円です。学会参加受付時にお支払いください。
- 情報交換会からの参加者は、当日17:00より、1号館レストラン前にて受付いたします。

8月22日のお弁当の配付について

- お弁当の配布は8月22日(木)のみです。
- 教員・学生ともに事前申請で希望された方のみ、お弁当の配布をいたします(無料)。
- お弁当引換券を教員・学生ともに事前申請された方のみ、学会参加費のお支払時に総合受付にて確認の上、お渡しいたします。
- お弁当は、第5会場(1号館1300講義室L)前にて、引換券と交換でお渡しいたします。会場内でお召し上がりください。
- 学会開始後にお弁当の希望はお受けできません。ご希望の方は、必ず事前にご申請ください。
- 夏休み期間中のため、当大学内のコンビニエンスストア、レストランは営業していません。また、徒歩で可能な近隣の飲食店はありません。
- ランチョンセミナーへ参加希望者もお弁当の事前申請を必ずお願いいたします。

発表者のみなさまへ

■ 特別講演、特別招聘講演、シンポジウム、基調講演、教育講演、教員・学生合同研修会

- 発表スライドの映写確認を行いますので、ご発表30分前までには、必ず総合受付にお越しください。
- 発表スライド・動画は、ご自身の PC または USB に入れて、発表会場に直接お持ち込みいただきます。
- ご自身の PC でご発表される場合でも、必ずバックアップファイルを USB フラッシュメモリーに保存しご持参ください。
- プロジェクターとの接続は、ミニ D-Sub15ピンとなります。それ以外の接続アダプターが必要な方は、ご自身でご用意をお願いします。
- 会場に設置する PC の OS は Windows10 (64bit)、ソフトウェアは Microsoft PowerPoint 2016 になります。
- 発表時間については、司会者の指示に従ってください。

■ 一般演題 (8月22日の8:50～11:50)

- 教員および学生演題の発表時間は、発表7分、質疑応答3分となります。発表終了時間1分前に1回、終了時に2回、質疑応答時間終了時に3回、合図をさせていただきます。時間厳守での発表をお願いいたします。
- 発表資料は、すべて Microsoft 社の PowerPoint による PC 発表のみといたします。
- 発表用 PC の OS は Windows10 (64bit)、ソフトウェアは Microsoft PowerPoint 2016 になります。
- スライドの枚数に制限はありません。また、動画ファイル等につきましては動作保障をいたしません。
- 発表スライドは、すべて USB フラッシュメモリーに保存してご持参ください。
- PC センター (3号館1階3107ゼミ室) で各会場別 PC にスライドファイルを保存し、動作確認を行います (学会担当者がサポートいたします)。
- PC センターの開設期間は、21日 (水) が10:00～17:00、22日 (木) が8:00～12:00です。
- 22日 (木) 8:50～9:50のセッションで発表される方は、可能な限り前日の21日 (水) 中に発表スライドの登録・確認をご終了ください (9:55以降のセッションで発表される方も、21日 (水) にスライド登録・確認が可能です。受付時の混雑解消にご協力をお願いいたします)。
- 22日 (木) の9:55以降のセッションで発表される方の当日受付は、必ず発表するセッションの開始30分前までに、スライド登録・確認を行ってください。
- スライドデータ等は、発表後、事務局の責任で消去いたします。
- ご自身の PC の持ち込み発表は、一切できません。

司会・座長のみなさまへ

- ご担当のセッション開始15分前までに会場内の次座長席へご着席ください。
- ご担当時間になりましたら、司会・座長席にご着席ください。
- 教員および学生の一般演題発表時間は、発表7分、質疑応答3分になります。発表終了時間1分前に1回、終了時に2回、質疑応答時間終了時に3回、合図をさせていただきます。時間厳守での発表、速やかな進行に、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

優秀発表賞について

- 本年も学生の発表に対し、教育効果を高めることを目的に、優秀発表賞を設けました。
- 学生演題のセッションごとに優秀な発表を行った学生1名に優秀発表賞を授与します。
- 選考は、構成、語句、声の大きさ・明瞭さ・スピード、質疑応答、スライドの完成度・美しさ、質疑応答の的確さ、内容を含む総合評価の各項目について、審査員の評価を集計して行います。
- 表彰式は、8月22日(木)教育講演1の終了後、16:30から3号館1階の第1会場(50周年記念館)にて行います。

科目別分科会について

- 科目別分科会は、協議会主催となります。後日、詳細について協議会より連絡があり次第、学会ホームページ等でアナウンスさせていただく予定です。

会場アクセス図



公共交通機関ご利用の場合

- 阿蘇くまもと空港から… 空港リムジンバスで
 - 熊本交通センターまで 約50分
 - JR熊本駅まで…………… 約60分
- JR熊本駅から…………… 鹿児島本線「西里駅」約10分で下車、徒歩3分

自動車ご利用の場合

- JR熊本駅から…………… 約25分
- 熊本交通センターから…… 約20分
- 阿蘇くまもと空港から…………… 約60分
- 九州自動車道植木ICから…… 約25分

会場周辺図



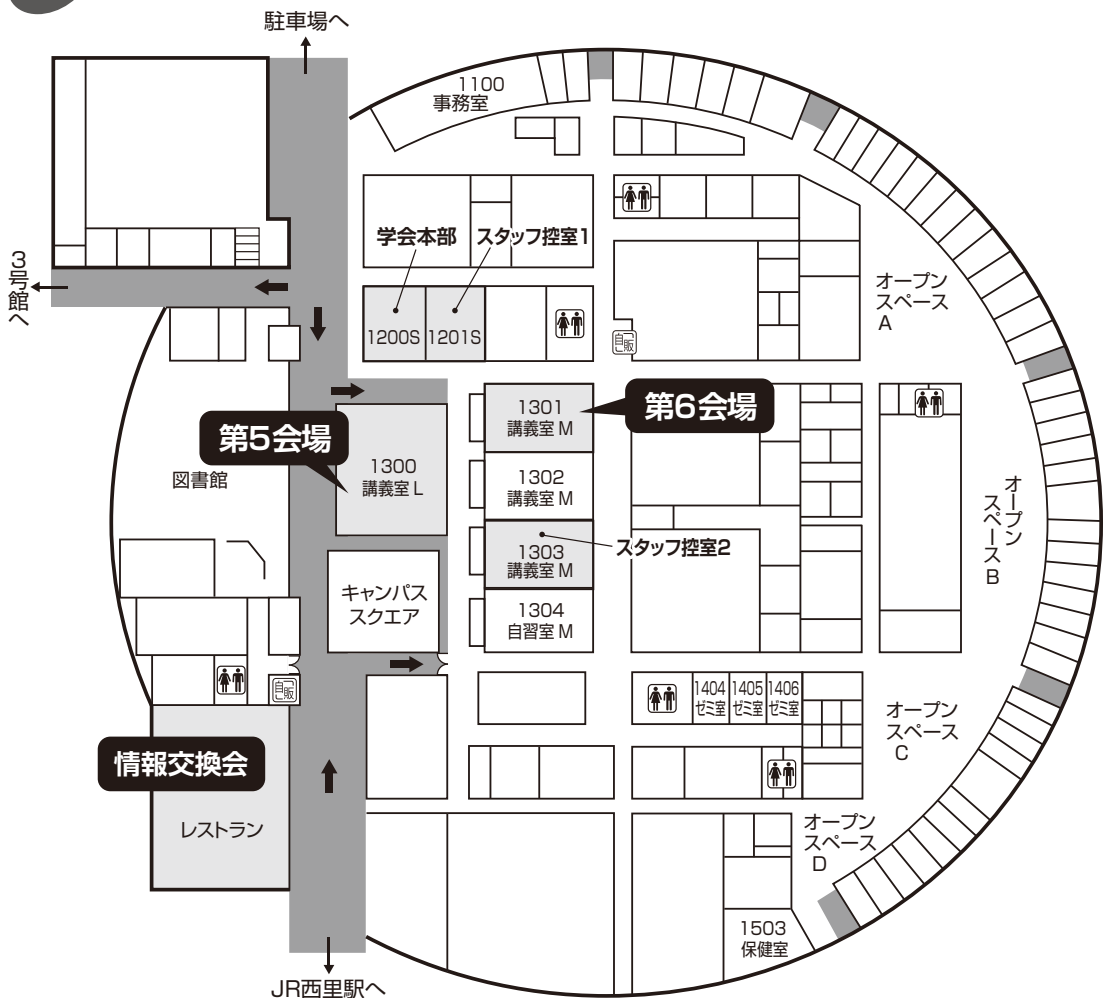
時刻表 JR 熊本駅－西里駅

	熊本駅 発 (西里駅ゆき)				西里駅 発 (熊本駅ゆき)			
	鹿児島本線(上り)				鹿児島本線(下り)			
6	25	50			20	29		
7	12	31	40		12	41		
8	01	18	31	52	00	05	21	32 54
9	12	40			18	48		
10	11	47			16	33	49	
11	11	46			23			
12	15	48			01	23	44	
13	15	46			11	44		
14	15	46			10	44		
15	15	34	53		10	44		
16	18	37			10	22	44	
17	10	50			15	49		
18	10	34	54		09	27	59	
19	35				34	59		
20	10	42			15	45		
21	19	49			18	44		
22	30				15	47		

会場案内図

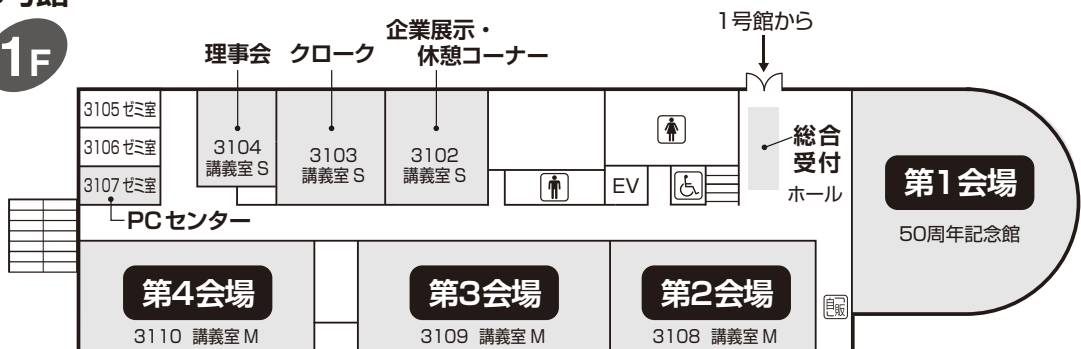
1号館

1F



3号館

1F



1日目 8月21日 水 会場：熊本保健科学大学

第1会場 50周年記念館		第2会場 3号館 3108講義室M	3号館 3104講義室S	1号館 レストラン	3号館 3102講義室S
10:00～17:00 受付【3号館 1階ホール】／PCセンター【3号館 3107ゼミ室】 10:30～20:00 クローク【3号館 3103講義室S】					
9:00			9:00 ～ 11:30 理事会		
10:00					
11:00					
12:00					
13:00	12:50～13:10 学会臨時総会	12:10～12:40 評議員会			12:00 ～ 17:00 企業展示・休憩コーナー
	13:20～13:30 開会式				
	13:30～14:30 基調講演 臨地実習前の総合実習（臨床検査版 OSCE） に対する協議会の方向性 実践報告 OSLE: 臨床検査学教育における形成的 OSCE の開発・実践・課題 司会：坂本 秀生（神戸常盤大学）	演者：奥村 伸生（信州大学）			
14:00		演者：會田 雄一（筑波大学）			
	14:30～16:00 シンポジウム 臨床検査技師教育における修学支援について： 多様な学生への支援 演者：嶋田 かをる（熊本保健科学大学） 山本 成郎（九州保健福祉大学、 前宮崎大学医学部附属病院） 原口 彩央里（株式会社 臨床宮崎） 司会：永瀬 澄香（川崎医療福祉大学）				
15:00					
16:00					
	16:15～17:25 特別招聘講演 災害医療支援における多職種連携 ～熊本地震から学んだこと～ 演者：掃本 誠治 （熊本市立植木病院長、熊本大学客員教授） 司会：川口 辰哉（熊本保健科学大学）				
17:00					
18:00				17:40 ～19:40 情報交換会	
19:00					
20:00					

2日目 8月22日 木 会場：熊本保健科学大学

	第1会場 50周年記念館	第2会場 3号館 3108講義室M	第3会場 3号館 3109講義室M	第4会場 3号館 3110講義室M	第5会場 1号館 1300講義室L	第6会場 1号館 1301講義室M	3号館 3102講義室S
	8:00～18:00 受付 [3号館 1階ホール] / 8:00～12:00 PC センター [3号館 3107ゼミ室] 8:00～18:30 クローク [3号館 3103講義室 S]						
8:30							
9:00	8:50～9:50 一般演題 1 教員 教 01～06	8:50～9:50 一般演題 4 教員 教 18～23	8:50～9:50 一般演題 7 大学院 院 01～06	8:50～9:50 一般演題 10 大学院 院 17～22	8:50～9:50 一般演題 13 学部 学 06～11	8:50～9:50 一般演題 16 学部 学 23～28	9:00 ～ 17:00 企 業 展 示 ・ 休 憩 コ ー ナ ー
10:00	9:55～10:55 一般演題 2 教員 教 07～12	9:55～10:45 一般演題 5 教員 教 24～28	9:55～10:55 一般演題 8 大学院 院 07～12	9:55～10:55 一般演題 11 大学院 院 23～28	9:55～10:55 一般演題 14 学部 学 12～17	9:55～10:55 一般演題 17 学部 学 29～34	
11:00	11:00～11:50 一般演題 3 教員 教 13～17	11:00～11:50 一般演題 6 教員 教 29～33	11:00～11:40 一般演題 9 大学院 院 13～16	11:00～11:50 一般演題 12 学部 学 01～05	11:00～11:50 一般演題 15 学部 学 18～22	11:00～11:50 一般演題 18 学部 学 35～39	
12:00					12:10～13:00 ランチョン セミナー	12:10～13:00 ランチョン セミナー サテライト	
13:00							
14:00	13:10～14:10 特別講演	地震と建物 演者：崎元 達郎 (学校法人銀杏学園 理事長) 司会：杉内 博幸 (熊本保健科学大学)			血液学検査の変遷と国際的 標準化 ―血算と自動白血球 分類を中心に― 演者：近藤 弘 (関西医療大学) 司会：木村 明佐子 (国際医療福祉大学) 協賛：セラビジョン・ジャパン株式会社		
15:00	14:20～15:50 教員・学生 合同研修会	法改正 (臨床検査の精度の確保) に より教育に求められること 演者：久保野 勝男 (新潟医療福祉大学) 司会：小野川 傑 (埼玉医科大学)					
16:00	15:50～16:20 教育講演 1	今どきの若者像 演者：松下 弘子 (カウンセリングオフィス KMJ メンタルアシスト代表、 熊本保健科学大学 非常勤講師) 司会：嶋田 かをる (熊本保健科学大学)					
17:00	16:30～17:00 優秀発表表彰式						
18:00	17:10～18:10 科目別 分科会 1, 2	17:10～18:10 科目別 分科会 3, 4	17:10～18:10 科目別 分科会 5, 6	17:10～18:10 科目別 分科会 7, 8	17:10～18:10 科目別 分科会 9, 10	17:10～18:10 科目別 分科会 11	

3日目 8月23日 金 会場：熊本保健科学大学

第 1 会 場 50周年記念館		3号館 3102講義室S	3号館 1階ホール	3号館 3103講義室S
8:30			8:30 ↓ 12:00	8:30 ↓ 13:00
9:00	9:00～10:00 教育講演2 これからPBL テュートリアルを始める方へのメッセージ ～準備すること・心がけること～ 演者：大槻 真嗣（藤田医科大学） 司会：坂口 みどり（九州医学技術専門学校）	9:00 ↓ 12:00 企業展示・休憩コーナー	受	ク
10:00	10:00～11:00 教育講演3 医療紛争の現状と臨床検査技師の法的責任 演者：蒔田 覚（蒔田法律事務所） 司会：金原 正昭（純真学園大学）		付	ロ
11:00	11:00～11:40 クロージング・トーク 支え合う・寄り添うことで気づかされた臨床検査技師の世界 講演：古閑 公治（熊本保健科学大学） 司会：奥村 伸生（信州大学）			ー
	11:40～11:50 閉 会 式			ク
12:00				
13:00				
14:00				

一般演題 座長一覧

日	セッション	時間	会場	座長
8月22日(木)	一般演題セッション1 (教員)教01-06	8:50～9:50	第1会場 (50周年記念館)	川中 洋平(広島国際大学)
	一般演題セッション2 (教員)教07-12	9:55～10:55		和田 晋一(天理医療大学)
	一般演題セッション3 (教員)教13-17	11:00～11:50		奥村 伸生(信州大学)
	一般演題セッション4 (教員)教18-23	8:50～9:50	第2会場 (3号館3108講義室M)	山本 成郎(九州保健福祉大学)
	一般演題セッション5 (教員)教24-28	9:55～10:45		大河戸 光章(杏林大学)
	一般演題セッション6 (教員)教29-33	11:00～11:50		西岡 淳二(鈴鹿医療科学大学)
	一般演題セッション7 (大学院)院01-06	8:50～9:50	第3会場 (3号館3109講義室M)	脇 英彦(森ノ宮医療大学)
	一般演題セッション8 (大学院)院07-12	9:55～10:55		渡邊 純(弘前大学)
	一般演題セッション9 (大学院)院13-16	11:00～11:40		井越 尚子(女子栄養大学)
	一般演題セッション10 (大学院)院17-22	8:50～9:50	第4会場 (3号館3110講義室M)	福應 温(純真学園大学)
	一般演題セッション11 (大学院)院23-28	9:55～10:55		米田 孝司(京都橘大学)
	一般演題セッション12 (学部)学01-05	11:00～11:50		伊藤 洋志(長浜バイオ大学)
	一般演題セッション13 (学部)学06-11	8:50～9:50	第5会場 (1号館1300講義室L)	茅野 秀一(埼玉医科大学)
	一般演題セッション14 (学部)学12-17	9:55～10:55		徳野 治(京都大学)
	一般演題セッション15 (学部)学18-22	11:00～11:50		平 千明(信州大学)
	一般演題セッション16 (学部)学23-28	8:50～9:50	第6会場 (1号館1301講義室M)	中村 泰子(高知学園短期大学)
	一般演題セッション17 (学部)学29-34	9:55～10:55		石黒 啓司(岐阜医療科学大学)
	一般演題セッション18 (学部)学35-39	11:00～11:50		本間 啓子(金沢大学)

8月21日(水) 会場：熊本保健科学大学

9:00～11:30 理 事 会 (3号館 3104講義室 S)

12:10～12:40 評議員会 (第2会場：3号館 3108講義室 M)

第1会場：50周年記念館

12:50～13:10 学会臨時総会

13:20～13:30 開 会 式

理事長あいさつ 奥村 伸生

大会長あいさつ 古閑 公治

13:30～14:30 基調講演

司会：坂本 秀生 (神戸常盤大学)

「臨地実習前の総合実習 (臨床検査版 OSCE) に対する協議会の方向性」

奥村 伸生 (日本臨床検査学教育協議会理事長、信州大学)

実践報告

「OSLE：臨床検査学教育における形成的 OSCE の開発・実践・課題」

會田 雄一 (筑波大学 医学医療系)

14:30～16:00 シンポジウム

司会：永瀬 澄香 (川崎医療福祉大学)

「臨床検査技師教育における修学支援について：多様な学生への支援」

S-1 教育現場からの視点

嶋田 かをる (熊本保健科学大学 学生相談・修学サポートセンター)

S-2 臨床現場からの視点

山本 成郎 (九州保健福祉大学、前宮崎大学医学部附属病院)

S-3 元当事者からの視点

原口 彩央里 (株式会社 臨床宮崎)

16:15～17:25 特別招聘講演

司会：川口 辰哉（熊本保健科学大学）

「災害医療支援における多職種連携 ～熊本地震から学んだこと～」

掃本 誠治（熊本市立植木病院長、熊本大学客員教授）

17:40～19:40 情報交換会（レストラン）

20:00 クローク終了（3号館 3103 講義室 S）

8月22日(木) 会場：熊本保健科学大学

第1会場：50周年記念館

8:50～9:50 一般演題セッション1(教員)(教01-06)

9:55～10:55 一般演題セッション2(教員)(教07-12)

11:00～11:50 一般演題セッション3(教員)(教13-17)

13:10～14:10 特別講演

司会：杉内 博幸(熊本保健科学大学 副学長)

「地震と建物」

崎元 達郎(学校法人銀杏学園 理事長)

14:20～15:50 教員・学生合同研修会

司会：小野川 傑(埼玉医科大学)

「法改正(臨床検査の精度の確保)により教育に求められること」

久保野 勝男(新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科)

15:50～16:20 教育講演1

司会：嶋田 かをる(熊本保健科学大学)

「今どきの若者像」

松下 弘子(カウンセリングオフィスKMJ メンタルアシスト代表、
熊本保健科学大学 非常勤講師)

16:30～17:00 優秀発表賞表彰式

17:10～18:10 分科会1, 2

第2会場：3号館 3108講義室 M

8:50～9:50 一般演題セッション4(教員)(教18-23)

9:55～10:45 一般演題セッション5(教員)(教24-28)

11:00～11:50 一般演題セッション6(教員)(教29-33)

17:10～18:10 分科会3, 4

第3会場：3号館 3109講義室 M

- 8:50～9:50 一般演題セッション7(大学院)(院01-06)
 9:55～10:55 一般演題セッション8(大学院)(院07-12)
 11:00～11:40 一般演題セッション9(大学院)(院13-16)

17:10～18:10 分科会5, 6

第4会場：3号館 3110講義室 M

- 8:50～9:50 一般演題セッション10(大学院)(院17-22)
 9:55～10:55 一般演題セッション11(大学院)(院23-28)
 11:00～11:50 一般演題セッション12(学部)(学01-05)

17:10～18:10 分科会7, 8

第5会場：1号館 1300講義室 L

- 8:50～9:50 一般演題セッション13(学部)(学06-11)
 9:55～10:55 一般演題セッション14(学部)(学12-17)
 11:00～11:50 一般演題セッション15(学部)(学18-22)

12:10～13:00 ランチョンセミナー

協賛：セラビジョン・ジャパン株式会社

司会：木村 明佐子(国際医療福祉大学 成田保健医療学部)

「血液学検査の変遷と国際的標準化 ―血算と自動白血球分類を中心に―」

近藤 弘(関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科)

17:10～18:10 分科会9, 10

第6会場：1号館 1301講義室 M

- 8:50～9:50 一般演題セッション16(学部)(学23-28)
 9:55～10:55 一般演題セッション17(学部)(学29-34)
 11:00～11:50 一般演題セッション18(学部)(学35-39)

12:10～13:00 ランチョンセミナー(サテライト)

17:10～18:10 分科会11

18:30 クローク終了(3号館 3103講義室 S)

8月23日(金) 会場：熊本保健科学大学

第1会場：50周年記念館

9:00～10:00 教育講演2

司会：坂口 みどり(九州医学技術専門学校)

[これからPBL テュートリアルを始める方へのメッセージ
～準備すること・心がけること～]

大槻 真嗣(藤田医科大学 医学部 臨床総合医学 教授)

10:00～11:00 教育講演3

司会：金原 正昭(純真学園大学)

「医療紛争の現状と臨床検査技師の法的責任」

蒔田 覚(蒔田法律事務所 弁護士)

11:00～11:40 クロージング・トーク

司会：奥村 伸生(信州大学)

「支え合う・寄り添うことで気づかされた臨床検査技師の世界」

古閑 公治(熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科)

11:40～11:50 閉会式

理事長あいさつ 奥村 伸生

次期大会長あいさつ 秋山 秀彦

大会長 閉会の辞 古閑 公治

13:00 クローク終了(3号館 3103講義室S)

一般演題(教員セッション) 8月22日(木) 会場: 熊本保健科学大学

セッション1(教員)

8:50~9:50 第1会場: 50周年記念館

座長: 川中 洋平(広島国際大学)

教01 細胞検査士養成課程の試験における採点作業時間削減の工夫

郡 秀一 杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科 細胞診断学

教02 臨床検査技師養成過程における人体解剖実習の有用性の検討

酒井 一由 藤田医科大学 医療科学部

教03 肺癌病変におけるPD-L1発現と細胞傷害性リンパ球の関係

関 貴行 文京学院大学 大学院保健医療科学研究科 検査情報解析分野 病因病態情報解析学

教04 臨床細胞病理学実習の新しい取り組み —より実践に近い学内実習をめざして Part2—

柳田 隆正 藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科

教05 ヒト皮膚線維芽細胞由来細胞塊スフィアにおける 幹細胞マーカータンパク質の発現

山口 良考 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 遺伝子染色体検査学講座

教06 医療技術系大学における遺伝子技術教育教材の開発と飲酒に関する 生活指導への応用の可能性

田邊 香野 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

セッション2(教員)

9:55~10:55 第1会場: 50周年記念館

座長: 和田 晋一(天理医療大学)

教07 運動介入後の健康度調査における教育学的地域参加の試み その1

西村 和高 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

教08 運動介入後の健康度調査における教育学的地域参加の試み その2

松本 珠美 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

教09 運動介入後の健康度調査における教育学的地域参加の試み その3

松原 朱實 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

教10 生理系専門科目におけるアクティブ・ラーニングの実践 第2報

平 千明 信州大学 学術研究院 保健学系

教11 脳波検査電極配置に使用する教育用トレーナーの開発

大栗 聖由 鳥取大学 医学部 保健学科 病態検査学講座

教12 2 flour による学内実習

廣井 禎之 新渡戸文化短期大学 臨床検査学科

セッション3(教員)

11:00～11:50 第1会場:50周年記念館

座長:奥村 伸生(信州大学)

- 教13** 臨地実習前の客観的臨床能力試験(OSCE: Objective Structured Clinical Examination)試行に対する学生の認識
—試験終了後のアンケート調査から—

菅野 正彦 福島県立総合衛生学院

- 教14** 臨地実習における実習開始前の感染症に関する報告書提出の現状と
本学学生の抗体価検査およびワクチン接種の実態について

黒田 真代 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

- 教15** 藤田医科大学における OSCE の実施と今後の展望

雪竹 潤 藤田医科大学 医療科学部

- 教16** 検査学を学ぶ学生の再生医療・細胞プロセッシングセンターに対する印象と
進路選択肢としての可能性

丹羽 俊文 東北大学大学院 医学系研究科 分子機能解析学分野

- 教17** 本校における臨地実習実施状況と今後の課題について

水上 紀美江 湘央医学技術専門学校 臨床検査技術学科

セッション4(教員)

8:50～9:50 第2会場:3号館 3108講義室 M

座長:山本 成郎(九州保健福祉大学)

- 教18** 在宅医療で活躍できる臨床検査技師の育成
～卒前教育「在宅医療検査学」導入の必要性～

奥山 啓子 栃木県立衛生福祉大学校 臨床検査学部

- 教19** 接遇実習の実例－実践(地域への貢献)と教育(看護と福祉面)そして在宅研修

井越 尚子 女子栄養大学

- 教20** 臨床検査学科の学生と模擬患者による地域訪問も含めての教育効果について

神永 教子 NPO 法人響き合いネットワーク東京 SP の会

- 教21** 学内における臨床化学実習の現状

藤本 一満 倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科

- 教22** 保健学系学生における言語技術スキルの実態調査

野坂 大喜 弘前大学 保健学研究科

- 教23** インストラクショナルデザイン(ID)理論によるブレンド型学習の設計と
学生の学習意欲への影響について

中前 雅美 京都保健衛生専門学校 臨床検査学科

セッション5(教員)

9:55～10:45 第2会場:3号館 3108 講義室 M

座長:大河戸 光章(杏林大学)

- 教24** 医療系短大臨床検査科学生における
自尊感情、ストレス反応、自己有用感の経時的変化
近末 久美子 川崎医療福祉大学 臨床検査学科
- 教25** 自動血球計数装置の測定誤差について理解を深める実習の試み
～血小板凝集検体の測定を通して～
水上 紀美江 湘中央医学技術専門学校 臨床検査技術学科
- 教26** 初年次教育におけるキャリア形成支援:
「臨床検査技師という仕事～先輩からのメッセージ」ポスターツアーの試み
本間 啓子 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系
- 教27** 効果的な導入教育を実践するための試み
後藤 きよみ 関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教28** 医療検査学科における就職支援のための面接対策講座の取り組み
佐藤 隆司 北里大学 医療衛生学部 医療検査学科

セッション6(教員)

11:00～11:50 第2会場:3号館 3108 講義室 M

座長:西岡 淳二(鈴鹿医療科学大学)

- 教29** 骨髓塗抹標本を用いない血液形態学教育方法構築の試み
木村 明佐子 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科
- 教30** Multiple Intelligence の視点を加味した「血液検査学」の
授業実践と効果の検証
關谷 暁子 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系
- 教31** CIE 表色系を用いた正常血液顕微鏡像におけるハロゲン光源と
LED 光源との差について
佐川 輝高 愛媛県立医療技術大学
- 教32** google フォームを用いた学内実習改善の取り組み
亀山 広喜 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科
- 教33** 「疑似髄液」による細胞数算定検査の学内実習の試み
徳野 治 京都大学医学部人間健康科学科 総合医療科学コース

一般演題(大学院セッション) 8月22日(木) 会場:熊本保健科学大学

セッション7(大学院)

8:50~9:50 第3会場:3号館 3109講義室 M

座長:脇 英彦(森ノ宮医療大学)

院01 腹部エコー技術習得のための新たな active learning の試み

上中 沙衿 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科

院02 努力非依存性運動機能測定因子に関する予備的研究

有馬 百合愛 純真学園大学大学院 保健医療学研究科 保健衛生学専攻 臨床検査学分野
生体機能検査学領域

院03 たこつぼ心筋症における心筋のねじれ運動の検討

山崎 歌音 藤田医科大学大学院 保健学研究科

院04 脳波を用いたけいれん重積型急性脳症(AESD)と熱性けいれん(FS)の早期鑑別

秋山 翔太 鳥取大学 医学部 保健学科病態検査学講座

院05 B型慢性肝疾患による発癌に対する肝線維化評価法の有用性

佐野 友亮 藤田医科大学 大学院 臨床生理・画像情報解析学

院06 横隔膜超音波検査による健常小児の横隔膜筋厚および年齢発達の評価

池口 拓哉 鳥取大学大学院医学系研究科 保健学専攻

セッション8(大学院)

9:55~10:55 第3会場:3号館 3109講義室 M

座長:渡邊 純(弘前大学)

院07 健常者尿における尿管上皮細胞(丸細胞)の出現および形態に関する検討

高楊 ゆき 国際医療福祉大学大学院 修士課程保健医療学専攻 臨床検査学分野

院08 PCR-RFLP法を用いた新しい口腔内細菌叢検査システム

佐野 拓人 新潟大学 大学院保健学研究科 検査技術科学分野

院09 ニブル(哺乳瓶乳首)を通した、口腔から液体ミルク内への流入

涌井 杏奈 新潟大学 大学院保健学研究科 検査技術科学分野

院10 光-電子相関顕微鏡法(CLEM)を用いた神経細胞質内封入体の微細構造解析

平山 将也 藤田医科大学大学院 保健学研究科 形態細胞機能解析学

院11 黄砂の慢性肺毒性:ラットの肺の線維化についての病理学的解析

片倉 加奈子 麻布大学大学院 環境保健学研究科

院12 肺癌病変における間質組織構成の特殊性

西本 健斗 文京学院大学 大学院保健医療科学研究科 検査情報解析分野
病因病態情報解析学

セッション9(大学院)

11:00~11:40 第3会場:3号館 3109講義室 M

座長:井越 尚子(女子栄養大学)

院13 環境物質としての農薬による健康被害についての in vitro 評価
—ネオニコチノイド系農薬の場合—

坪崎 由夏 名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻

院14 住民健診受診者における *BDNF* 遺伝子の DNA メチル化率および
血清 *BDNF* 値と認知機能との関連

萩原 千晴 藤田医科大学大学院 保健学研究科

院15 変性ニューロンの検出に対する Fluoro-Jade C 染色の有用性

池成 拓哉 鳥取大学 医学部保健学科 生体制御学講座

院16 自己免疫性溶血性貧血の発症における自己抗体のアイソタイプの意義

竹腰 正広 名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻

セッション10(大学院)

8:50~9:50 第4会場:3号館 3110講義室 M

座長:福應 温(純真学園大学)

院17 抗ホスファチジルセリン/プロトロンビン抗体の臨床的有用性の検討

清水 直人 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学

院18 慢性疲労症候群患者の鑑別診断に有用なバイオマーカーの探索
—酸化ストレス度および細胞表面抗原解析からの検証—

三島 千穂 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学

院19 流動下で培養した血管内皮細胞が産生する VWF 上の糖鎖の解析

中村 優太 藤田医科大学大学院 保健学研究科 臨床検査学領域

院20 軟骨破壊を制御する microRNA の探索

立木 美穂 岡山大学大学院 保健学研究科 検査技術科学分野

院21 抗がん剤心毒性モデルにおける好酸球カチオン性タンパクの心保護効果

西村 拓人 岡山大学大学院 保健学研究科 検査技術科学分野

院22 Myeloperoxidase と chymase の連続的作用により産生された
HDL 中の新たな断片化 apolipoprotein A-I の解析

頼 昶睿 東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 先端分析検査学分野

セッション 11 (大学院)

9:55~10:55 第4会場:3号館 3110 講義室 M

座長: 米田 孝司 (京都橘大学)

院23 臨床検査技師を目指す学生におけるストレス評価について

福田 実 純真学園大学大学院 保健医療学研究科 保健衛生学専攻 臨床検査学領域
病態機能検査学分野

院24 ミトコンドリア機能不全マウスにみられる老化メカニズム

隅川 奈里 純真学園大学大学院 保健衛生学専攻 臨床検査学分野

院25 抗リン脂質抗体症候群における病態発症機序の解明に向けた基礎的検討

長谷川 真梨 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学

院26 遺伝性パーキンソン病患者 iPS 細胞由来単球系細胞の作製および機能解析

新田 龍人 北里大学大学院 医療系研究科 医科学専攻 生体機能医科学群 生殖工学

院27 保管血小板における老化マーカーの変化

登尾 一平 熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科 保険科学専攻 臨床検査領域

院28 HDAC5 遺伝子多型と自己免疫性甲状腺疾患の発症・病態予後との関連

小川 風音 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生体情報科学講座

一般演題(学部セッション) 8月22日(木) 会場: 熊本保健科学大学

セッション12(学部)

11:00~11:50 第4会場: 3号館 3110講義室 M

座長: 伊藤 洋志(長浜バイオ大学)

学01 酵素免疫染色法を用いた抗核抗体スクリーニングの臨床応用の可能性
その1: 問題点の検討

渡辺 有 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学02 酵素免疫染色法を用いた抗核抗体スクリーニングの臨床応用の可能性
その2: 臨床検体を用いた評価

本宮 夏海 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学03 カルシウム再加時間における容易なフィブリン検出の検討
— ガラス平板を使用した場合 —

宜保 明李 香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

学04 Epstein-Barr (EB) ウイルス陽性 T 細胞株におけるエクソソーム分泌の検討

熊木 優喜 東京医科歯科大学 先端血液検査学

学05 交差混合試験の新規実習教材の開発
— 直接経口抗凝固薬、ribaroxaban を用いたインヒビター疑似検体の
有用性の検討 —

渡邊 一史 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

セッション13(学部)

8:50~9:50 第5会場: 1号館 1300講義室 L

座長: 茅野 秀一(埼玉医科大学)

学06 熱処理を利用した新しい PTAH 染色の確立

大石 奈美 藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科

学07 体腔液細胞診におけるメイギムザ染色の有用性について

早石 尚子、脇ノ谷 幸司 関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

学08 体腔液細胞診における液状化細胞診検体の有用性について

上杉 皐稀、白木 祐真 関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

学09 退色パパニコロウ染色標本の再染色に関する検討

大田 弘美 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科

学10 結晶シリカのラットの気管への慢性曝露による全身臓器への影響

宮本 郁美 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科

学11 オートファジー促進剤ラパマイシンによるシスプラチン誘発腎毒性軽減効果:
投与時期の検討

井内 絵梨奈 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科

セッション14(学部)

9:55~10:55 第5会場:1号館 1300講義室L

座長:徳野 治(京都大学)

学12 軸索誘導因子セマフォリン3FはNRP2レセプターを介して乳癌細胞の浸潤を阻害する

和田 恵理子 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

学13 軸索誘導因子セマフォリン3Fは乳癌細胞の上皮間葉転換を阻害する

尾野 達郎 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

学14 天然ポリフェノール フェルラ酸による神経細胞保護作用の分子機構解析

林 愛莉実 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

学15 Netrin-1 シグナルに着目した髄芽腫転移メカニズム解析

後藤 大尚 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

学16 ヒト皮膚繊維芽細胞(HDF)由来細胞塊スフィアにおける幹細胞マーカー遺伝子の発現解析及び核型解析

中村 蓮 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科 遺伝子染色体検査学教室

学17 ヒト皮膚繊維芽細胞由来細胞塊スフィアにおける幹細胞マーカー遺伝子の発現解析及びその分化能の確認

藤井 樹 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科 遺伝子染色体検査学教室

セッション15(学部)

11:00~11:50 第5会場:1号館 1300講義室L

座長:平 千明(信州大学)

学18 甲状腺における膜輸送体 SLC26A7 の発現調節機構に関する検討

森 仁美 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科

学19 脳血管障害における DNA 損傷の程度

石川 舞 香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

学20 サブスタンス P と細胞障害との関係の解析

沖藤 水咲 香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

学21 タウ遺伝子スプライス部位二次構造に関する検討

甲斐 千尋 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科

学22 GSK3 β 遺伝子プロモーターの比較解析

池田 奈央 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科

セッション16(学部)

8:50~9:50 第6会場:1号館 1301講義室 M

座長:中村 泰子(高知学園短期大学)

学23 日英の臨床検査技師制度比較

清水 宏樹 国際医療福祉大学 成田保険医療学部 医学検査学科

学24 摂食関連ペプチドがラットの行動に及ぼす影響

吉田 結衣 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学25 機能性着圧ソックスの効用評価

嘉戸 晴菜 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

学26 眼底血管径測定による眼疲労検定モデルへの応用の可能性

阿南 美保 純真学園大学 保健医療学部 検査科学

学27 3D カメラ測定装置を用いた新たな嚥下機能評価法の基礎的研究:
研究Ⅰ 最適条件の検討

上原 和夏 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

学28 3D カメラ測定装置を用いた新たな嚥下機能評価法の基礎的研究:
研究Ⅱ 検査食による嚥下運動への影響

黒木 美帆 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

セッション17(学部)

9:55~10:55 第6会場:1号館 1301講義室 M

座長:石黒 啓司(岐阜医療科学大学)

学29 尿中赤血球形態の立体模型を用いた教育法の試み

郭 文楽 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科

学30 中高生が持つ遺伝子検査に対する意識に及ぼす体験型教材の影響に関する検討

斎藤 未希 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科

学31 臨床検査分野におけるモバイル顕微鏡の有用性
—光学顕微鏡との比較・検討—

田中 稔真 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

学32 深紫外 LED 光による *Fusobacterium nucleatum* 殺菌効果について

福田 総一郎 山口大学大学院医学系研究科 基礎検査学

学33 ガーナ共和国のフルオロキノロン系薬耐性、基質特異性拡張型
 β -ラクタマーゼ産生 *Escherichia coli* に関する分子疫学研究

岩澤 茉莉絵 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科

学34 緑膿菌、大腸菌およびヒト由来 D-3-Phosphoglycerate dehydrogenase の
精製とそれらの酵素活性に対する D- および L-serin 添加の影響

七條 唯人 香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

セッション18(学部)

11:00～11:50 第6会場:1号館 1301講義室 M

座長:本間 啓子(金沢大学)

学35 酵素法と蛍光標識法を用いた赤血球コレステロール放出能測定法の検討

原 安由子 東京医科歯科大学 医学部保健衛生学科 検査技術学専攻

学36 血清アミロイド A が高比重リポタンパクのコレステロール引き抜き能に及ぼす影響

陸田 優芽 東京医科歯科大学 医学部保健衛生学科 検査技術学専攻

学37 コレステロールとトリグリセライドの和を染色する新たなリポ蛋白分画法の活用—TC, HDL-C, TG などの脂質検査と組み合わせた評価の可能性—

志村 彩夏 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 (検査技術科学専攻)

学38 自動分析機の前希釈システムを応用した尿蛋白測定法による血清総蛋白測定

中山 日向帆 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻

学39 低アルブミン血症における乖離を回避した2試薬系 BCG-2点校正法の検討

小柳 恵美 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻

特 別 講 演

「地震と建物」

司会：杉内 博幸（熊本保健科学大学）

演者：崎元 達郎（学校法人銀杏学園 理事長）

第1会場：50周年記念館

8月22日（木） 13：10～14：10

特別講演

地震と建物

崎元 達郎

学校法人銀杏学園 理事長

熊本地震の発災からもう3年4か月ほど経過します。生活のためのインフラや、シンボルとしての熊本城天守閣などは復旧が進んでいますが、まだ、1万人を超える人々が仮住まいをされており、復旧も道半というべきでしょう。

橋などの構造物は、建設中のヒューマンエラーにより壊れたり、津波や大洪水に流されることがあっても、通常の荷重では壊れないように設計されるので、完成後、壊れるのを見ることは本来はほとんどないことです。しかし、内陸直下型の地震は別です。40年近く橋を中心とする構造物の強さについて研究してきましたが、その無力さを悟ったのは、24年前の阪神淡路大震災の時です。ただ、その時は、まだ、研究者として客観的に見ていたのであり、熊本地震を直接経験して、人為の無力さへの思いがさらに鮮明になりました。

この講演では、構造物の強度設計の専門家として、熊本地震を経験して思うことを織り込みながら、地震と建物のお話をしたいと思います。

その内容は、地震による被害状況、地震を知る、地震と建物、あなたの家は地震に対して安全ですか？どこまでお金をかけて安全を買うか？ などについてお話し、いつどこで起こっても不思議でない大地震から身を守る方法について共に考えたいと思います。

第14回日本臨床検査学教育学会学術大会抄録集

令和元年8月1日発行

編集責任者：大 会 長 古閑 公治
実行委員長 池田 勝義
学術・企画 南部 雅美 安楽 健作 正木 孝幸
総務・会計 松本 珠美 亀山 広喜 永田 和美 山本 隆敏
設営・運営 寺本 弘二 西村 和高

事務局：熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科内
第14回日本臨床検査学教育学会学術大会 事務局
〒861-5598 熊本市北区和泉町325番地
TEL：096-275-2216
E-mail：jamte14@kumamoto-hsu.ac.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

